

第2章. プロジェクトを取り巻く状況

第2章 プロジェクトを取り巻く状況

2-1 プロジェクトの実施体制

2-1-1 組織・人員

本プロジェクトの実施機関は国家灌漑庁（NIA）である。対象となる施設は国営灌漑施設であり、NIA 本庁の下で第二管区事務所（Region II: 図 2-1-1(1)「比」国行政区分図を参照）に属するアムルングポンプ灌漑事務所及び、マガピットポンプ灌漑事務所が施設の運営・維持管理を行う。各灌漑事務所の職員数を表 2-1-1(1)に、NIA 本庁の組織図を図 2-1-1(2)に、また各ポンプ灌漑事務所の組織図を図 2-1-1(3)に示す。

表 2-1-1 (1) アムルングポンプ灌漑事務所及びマガピットポンプ灌漑事務所の職員数

係名	アムルング ポンプ灌漑事務所	マガピット ポンプ灌漑事務所
灌漑事務所所長	1 人	1 人
灌漑事務所次長	1 人	1 人
総務課官財係	1 人	1 人
総務課出納係	2 人	—
総務課集金・会計係	2 人	7 人
総務課人事係	3 人	5 人
維持管理課技術係	—	4 人
維持管理課水路管理係	3 人	34 人
機械運営課機械・ポンプ場係	7 人	14 人
組織育成課	1 人	1 人
計	21 人	68 人

各ポンプ灌漑事務所は、現在①ポンプ場の運転・維持管理、②用排水路の維持管理、③保有機械の運転・維持管理、④水利費の徴収・管理を司っている。各ポンプ灌漑事務所の中の維持管理部門には竣工時に運転・維持管理研修を受けた職員が現在もポンプ場内の機材維持管理を担当している。マガピットポンプ灌漑事務所にいる電気担当の専門技術者はイギグも含めて他のポンプ場についても担当しており、各ポンプ場の依頼に応じて出張してメンテナンスを行っている。

一方、末端灌漑施設の維持管理は水利組合(IA)が行っており、NIA との契約のもと、NIA 管理下流の支線水路及び末端の小用水路の清掃、重機・大資材を必要としない管理道路の補修、分水ゲートの塗装・潤滑油の塗布等の小規模な修理・改善を行っている。

水利組合はイギグポンプ灌漑システムに 1 つ、アムルングポンプ灌漑システムに 2 つ、マガピットポンプ灌漑システムに 13 の計 16 水利組合が組織されている。マガピットポンプ灌漑システムの 13 水利組合は一つの水利組合連合（Federal IA）を組織している。水利組合では、理事会の下に水利組合委員会を置き運営している（図 2-1-1 (4) 参照）。

水利組合には 97%という殆どの農民が水利組合に所属しているが、フツスカブ水利組合とパンガナン水利組合では加入率が 76%、94%と低くなっている（表 2-1-1 (2) 参照）。これはこの水利組合の地域に排水不良地帯を多く含んでおり、灌漑が困難な地域が多いことによる。

現在、NIA では灌漑施設の維持管理を水利組合に移転する計画を実施に移しており、本計画地でも灌漑管理移転 (IMT) の計画が立てられている。この場合でも組織はそのまま存続し、図 2-1-1(5)に示すように、

新たに維持管理部門が組織される。維持管理職員は新規雇用または NIA から移行して組織され、水利組合委員会の下で、支線用水路、分水工の維持管理を行い、各分水工委員の小用排水路の維持管理を監視・指導する。

IMT はマガピットポンプ灌漑システムのフツスカブ及びパンガナンの 2 水利組合について 2002 年 11 月に実施され、2003 年中に完全移行する予定である。他の水利組合の IMT については、これら 2 水利組合の移転状況を見極めて順次移転する計画となっている。

図 2-1-1 (1) 「比」国行政区分図



図 2-1-1 (2) 国家灌漑庁 (NIA) 組織図

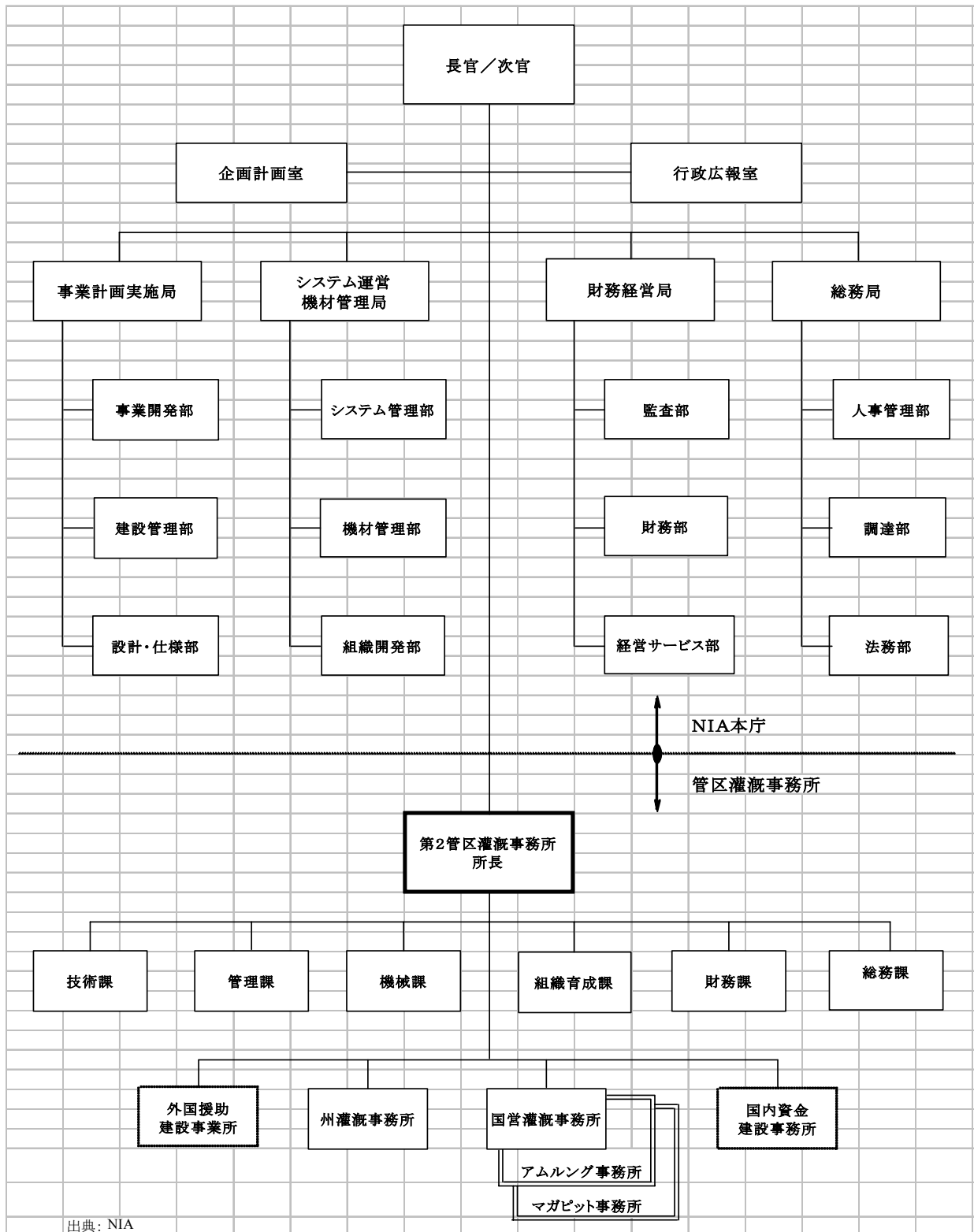
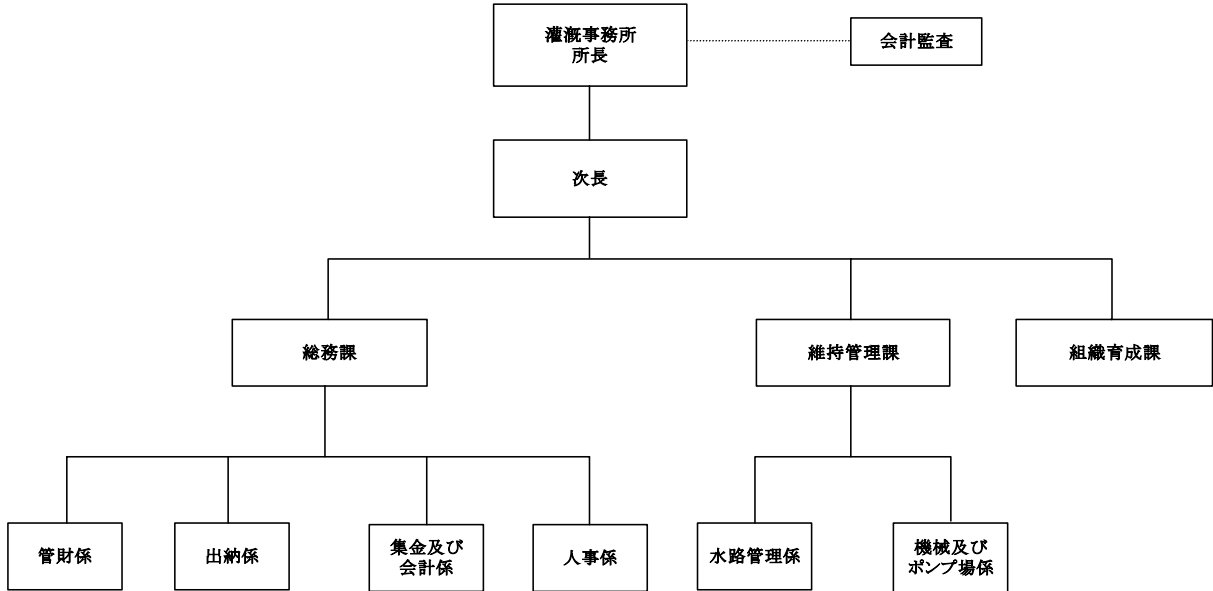


図 2-1-1 (3) ポンプ灌漑事務所の組織図

アムルングポンプ灌漑事務所

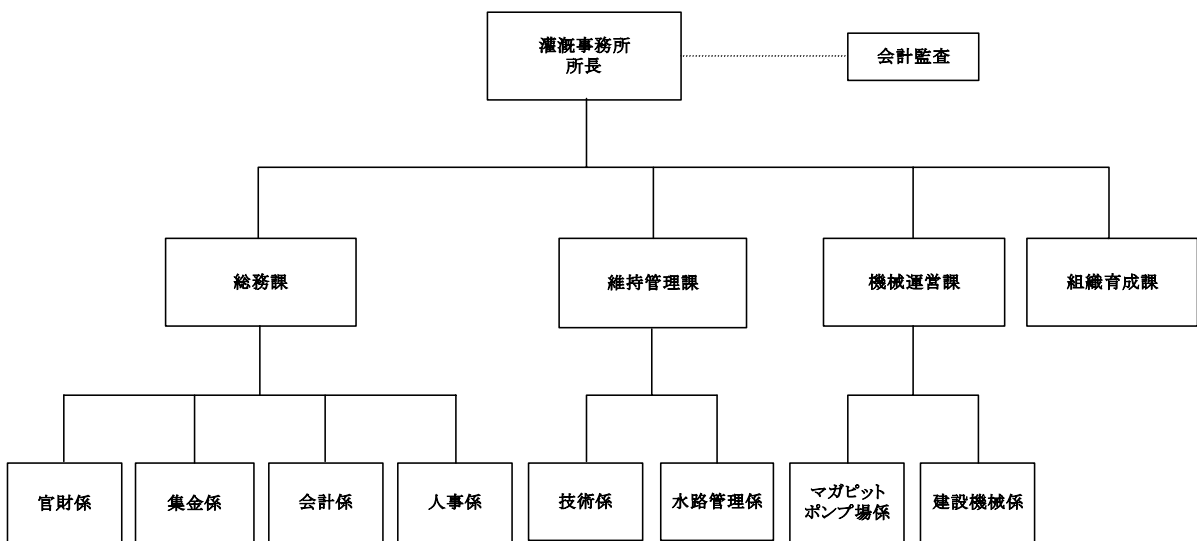
(2002 10月現在)



出典: IAAPIS Office

マガピットポンプ灌漑事務所

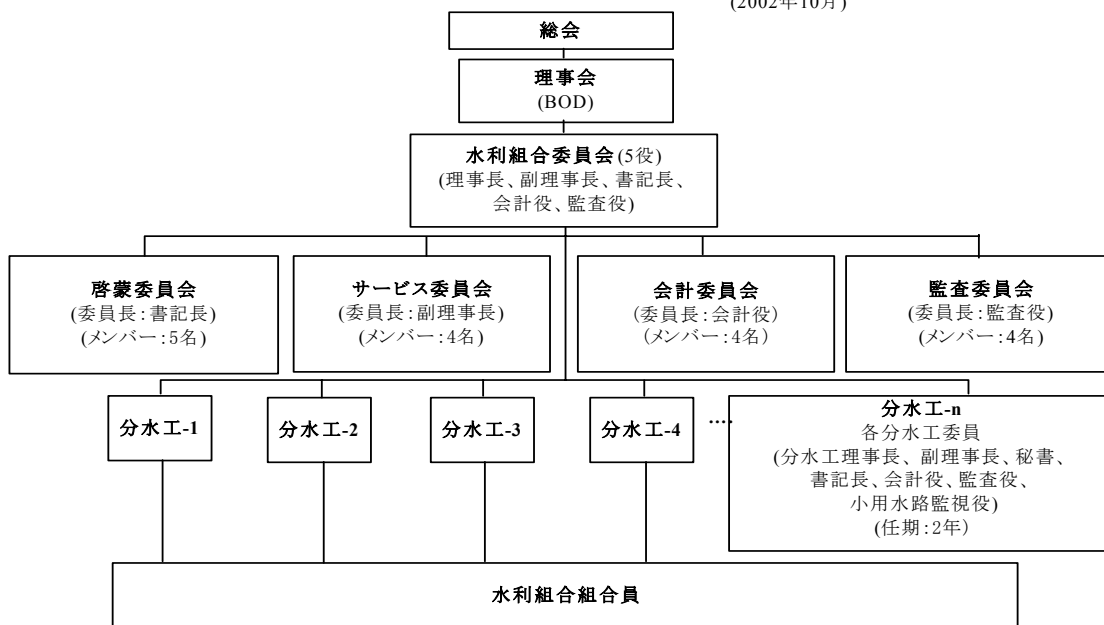
(2002 10月現在)



出典: MPIS Office

図 2-1-1 (4) 現在の水利組合組織図

(2002年10月)

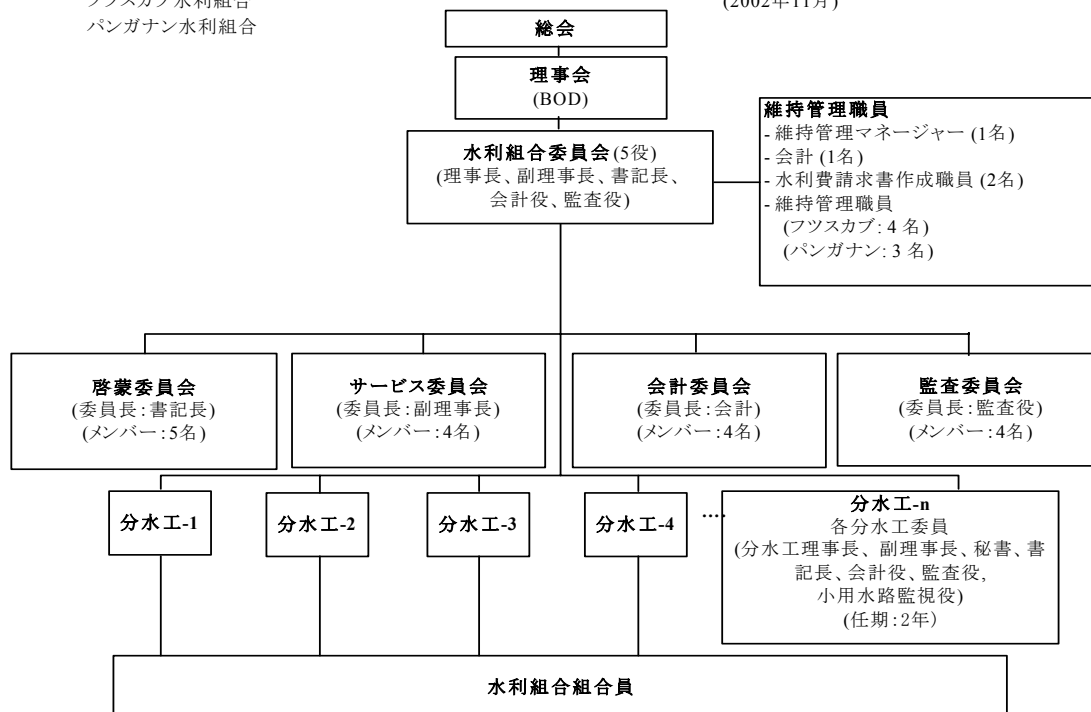


(出典) アムルング及びマガビット灌漑事務所

図 2-1-1 (5) 灌漑管理移転後の水利組合組織図

フツスカブ水利組合
パンガナン水利組合

(2002年11月)



(出典) マガビット灌漑事務所

図 2-1-1 (6) イギグ・アルカラ・アムルングポンプ灌漑システム全体図

